（別紙４）

# 公表　保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | ワンスタット港晴 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年　4月　10日 | | ～ | 2025年　7月　２５日 |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 45 | （回答者数） | 22 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年　4月　1日 | | ～ | 2025年　7月　25日 |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 3 | （回答者数） | 3 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 2025年　3月　5日 | | ～ | 2025年　7月　10日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | （対象数） | 12 | （回答数） | 12 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年　7月　２７日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 支援員の専門性・対応力が高く、保護者・訪問施設の両方から信頼されている。 | 支援前後に職員間で打ち合わせと振り返りを実施し、支援内容の質と一貫性を保っている。 | 家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）について、保護者への説明や案内をより明確に行う。 |
| 2 | 保育所等訪問支援計画や運営内容の説明が丁寧で、保護者との信頼関係が築けている。 | 訪問前には訪問先施設や担任の意向を確認し、個別ニーズに応じた柔軟な支援を行っている。 | 「支援の成果が見えにくい」という訪問先の声に応えるため、事前・事後の目標設定や可視化に力を入れる。 |
| 3 | 訪問施設とのコミュニケーションも円滑で、「質問に適時・適切に答えてくれる」との評価が多数。 | 保護者との面談や日々の連絡を通じて、家庭との情報共有にも努めている。 | 支援内容や目的の「見える化」を進めることで、関係者全体の共通理解を深める。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 家族支援に関して、必要な情報を分かりやすく、確実にお伝えする工夫がまだ十分とは言えず、「知らなかった」「わかりづらかった」と感じられる場面があったことを真摯に受け止めています。今後は、対話と視覚的な資料の両面からの説明に努めてまいります。 | 家族支援に関する情報の伝え方について、私たちの説明が一方通行になっていた部分がありました。内容は伝えたつもりでも、受け取りやすいタイミングや方法にもう少し配慮が必要だったと感じています。 | 家族支援については、説明の方法や伝えるタイミングを見直し、保護者の方にわかりやすく丁寧にお伝えできるよう工夫していきます。 |
| 2 | 訪問日程の調整や情報共有については、これまで個々の職員の経験や判断に委ねる部分が多く、結果として情報の行き違いが起こる可能性がありました。今後は、組織としての確認・共有の仕組みを明確にし、誰が関わってもスムーズに運営できる体制づくりを目指します。 | 訪問日程の調整や情報共有については、個々の職員がしっかり対応しようとする中で、全体で共有する仕組みづくりが後回しになっていたことが、確認の抜けにつながっていたと受け止めています。 | 訪問日の管理や連絡の共有については、職員みんなで確認しやすいしくみを整えて、安心してご利用いただけるようにしていきます。 |
| 3 | | | |